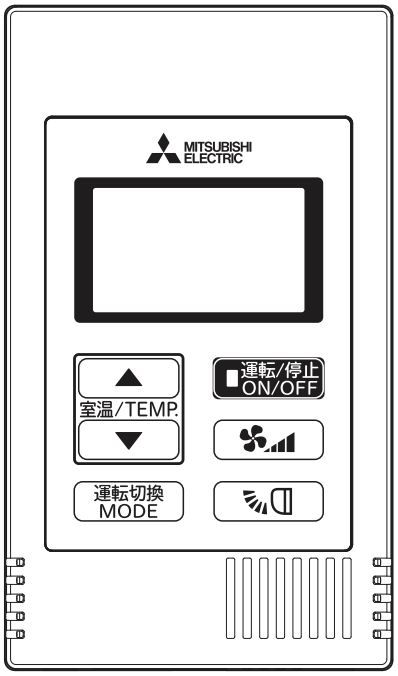
三菱電機 ビル 空調管理システム

MA コンパクトリモコン PAC-YT52CR

取扱説明書



安全のために必ず守ること 2
各部の名前とはたらき 6
　操作部 6
　表示部 7
基本動作 8
　運転モード 8
　設定温度 9
　風速 10
　風向 10
機能設定 11
　温度範囲の制限 11
　操作ロックの設定 12
　モードスキップの設定 12
　バックライト輝度の設定 13
仕様 13

アイコンの説明

本取扱説明書では、下記のような四角形のアイコンを用いています。

運 装置が動作状態であるときのみ、変更可能である設定を示しています。

停 装置が停止状態であるときのみ、変更可能である設定を示しています。

ボタンがロックされているとき、またはシステムが制御状態にあるときに、利用できない機能を示しています。

ご利用になる前に、本取扱説明書をすべて読み、正しく装置をご利用ください。
本取扱説明書を保管し、必要なときにお読みください。
将来本装置のご利用者が代わった場合には、本取扱説明書および据付説明書を必ずお渡しください。
リモコンを安全かつ適切に操作するために、リモコンの据え付けは、有資格の専門業者が行う必要があります。

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）

（接触禁止）

（水ぬれ禁止）

（ぬれ手禁止）

（一般注意）

（破裂注意）

（感電注意）

（一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

⚠ 警告

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食によるけが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

コントローラを水・液体で洗わないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

アルコール消毒した場合、周囲に充満するアルコールガスを換気して取り除くこと。

- ガスを取り除かずに電源を入れた場合、引火・爆発するおそれあり。
（本製品は防爆仕様ではありません）

爆発注意

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、給電用電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。

感電注意

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。

- 薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

感電注意

異常時（こげ臭いなど）や不具合が発生した場合、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

コントローラのカバーを取り付けること。

- ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

⚠注意

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

使用禁止

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- 感電・故障のおそれあり。

使用禁止

部品端面に触れないこと。

- けが・感電・故障のおそれあり。

接触禁止

作業するときは保護具を身につけること。

- けがのおそれあり。

けが注意

コントローラの廃棄は販売店に依頼すること。

- 環境破壊のおそれあり。

指示を実行

移設・修理をするときに

⚠警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

⚠注意

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ショート・感電・故障・火災のおそれあり。

接触禁止

お願い

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

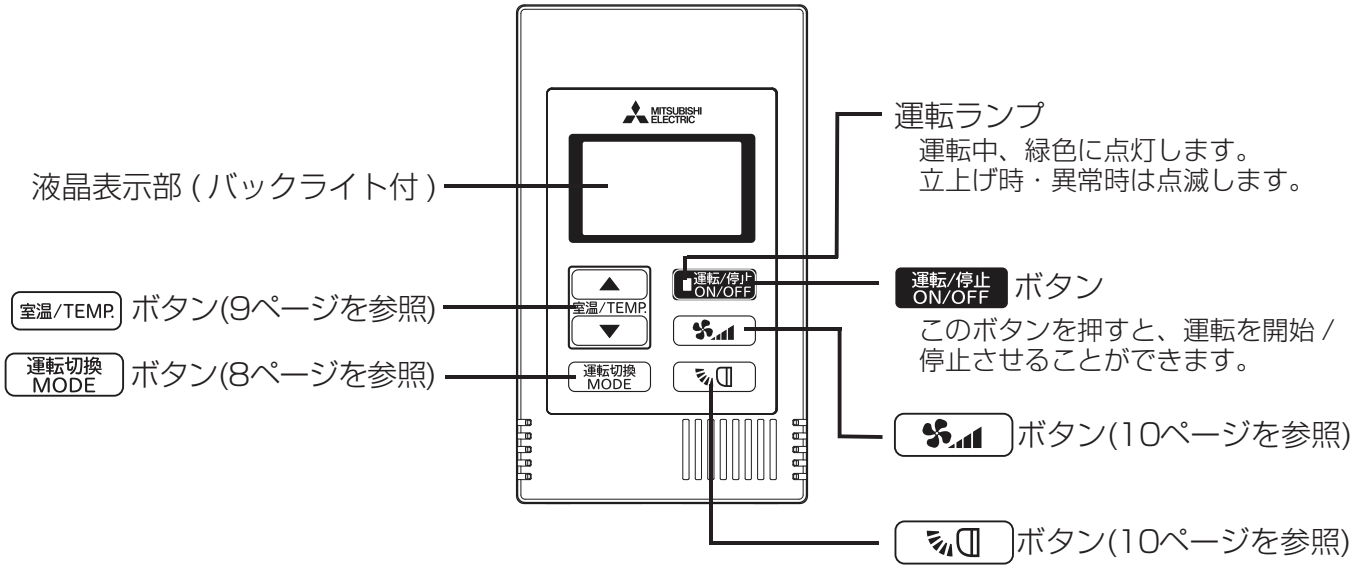
- 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

ベンジンやシンナー、化学雑巾などでコントローラに触れないでください。

- 汚れがひどい場合、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげること。
- 変色のおそれあり。

各部の名前とはたらき

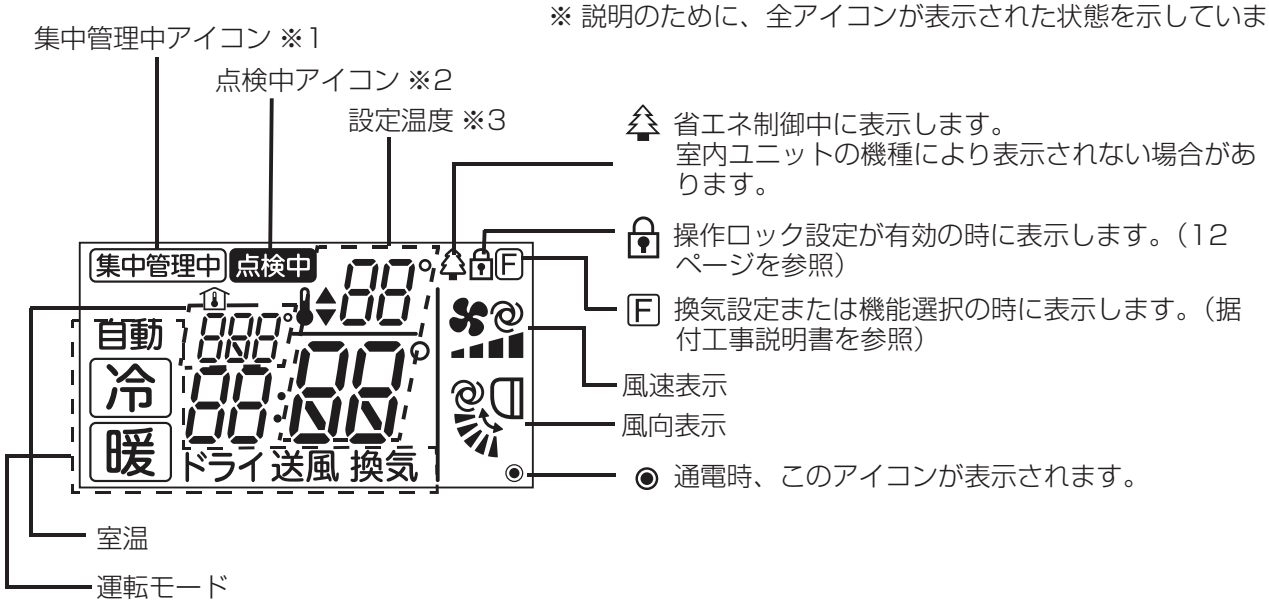
操作部



※ ルーバーなどの本リモコン（PAC-YT52CR）では制御できない機能を設定するには、
MA スマートリモコンまたは集中コントローラをご利用ください。

表示部

※ 説明のために、全アイコンが表示された状態を示しています。



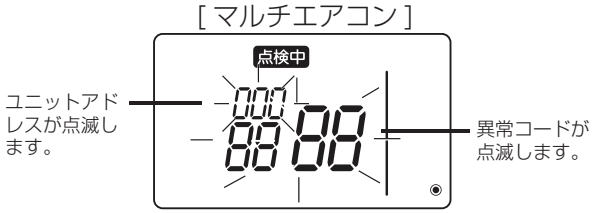
※1 集中管理中 アイコン

運転 / 停止、運転モード、設定温度、風速、風向の操作が集中管理中の時に表示されます。
室内ユニットの機種により異なります。

※2 点検中 アイコン

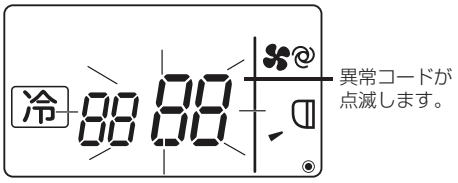
マルチエアコンでは、異常発生時に運転ランプが点滅し、ユニットアドレス（3 桁）および異常コード（4 桁）が点滅します。
異常内容をご確認の上、運転を停止し、お買上げの販売店にご連絡ください。

[マルチエアコン]



異常コードだけが点滅するときには、室内ユニットは運転を続けますが、異常が発生している可能性があります。
異常コードを確認の上、お買上げの販売店にご連絡ください。

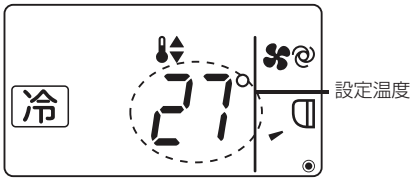
[マルチエアコン]



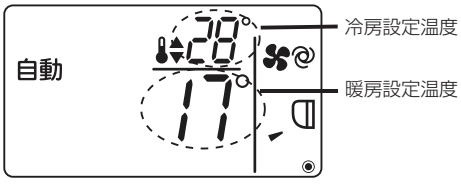
※3 設定温度

※ 摂氏表示または華氏表示を選択可能です。詳細については、据付工事説明書を参照してください。

冷房、ドライ、暖房、または
自動モード



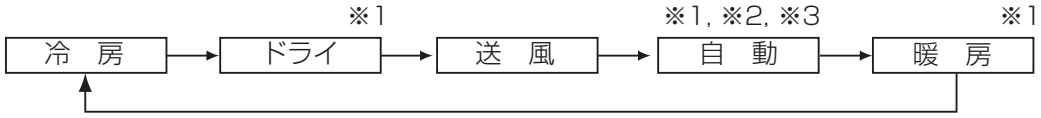
デュアルオートモード



基本動作

運転モード

運転切換 MODE ボタンを押すごとに以下の順に運転モードが切り換わります。



※1: 全機種の室内ユニットで全機能が利用できる訳ではありません。利用できない機能は、画面上に表示されません。

※2: 室内ユニットの機種により、自動モードまたはデュアルオートモードの設定温度が表示されます。

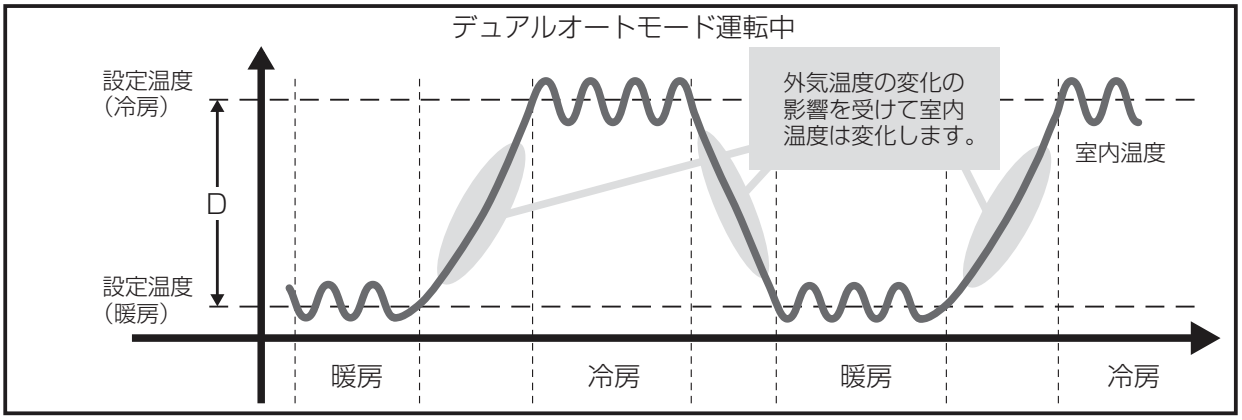
※3: デュアルオートモードを含みます。

デュアルオートモード

デュアルオートモードでは、2 値（冷房・暖房）の温度を設定でき、デュアルオートモード運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切換え、2 つの設定温度内に室内温度を維持します。

デュアルオートモードで設定された冷房と暖房の設定温度は冷房 / ドライ、暖房モードそれぞれ設定温度の設定に反映されます。

下図はデュアルオードモードで動作中のユニットの動作パターンを示します。



※ 冷房設定温度と暖房設定温度の差（D）の最小値は、接続する室内ユニットにより異なります。

設定温度

冷房、ドライ、暖房、および自動モード中では、

▲ 室温/TEMP. ボタンを押すごとに設定温度が上がります。

▼ 室温/TEMP. ボタンを押すごとに設定温度が下がります。

デュアルオートモード

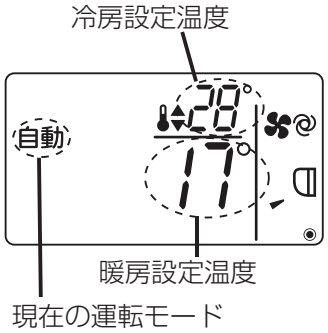
室内ユニットが対応している場合、設定が可能です。

デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は冷房 / ドライ、暖房モードの設定温度とそれぞれ共通です。

デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は、以下の条件で設定できます。

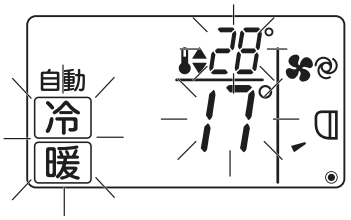
・冷房設定温度が暖房設定温度よりも高く、温度差 D が最小温度差以上（8 ページ参照）

※ 操作により 2 つの設定温度が最小温度差未満となる場合には、温度範囲内で両方の設定温度が同時に変更されます。



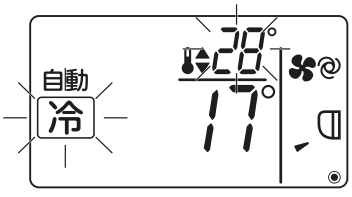
現在の設定温度（冷房 / 暖房）が表示されます。

▲ 室温/TEMP. または ▼ 室温/TEMP. ボタンを押すと、設定温度（冷房 / 暖房）が点滅表示になります。



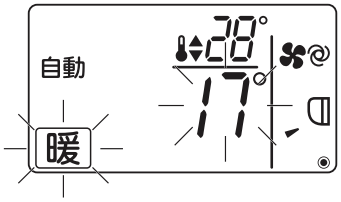
設定温度（冷房 / 暖房）が点滅表示になっているときに、▲ 室温/TEMP. ボタンを押すと冷房および暖房の両方の設定温度が上がり、▼ 室温/TEMP. ボタンを押すと冷房および暖房の両方の設定温度が下がります。

運転切換 MODE ボタンを押すと、冷房設定温度だけが点滅表示になります。



冷房設定温度が点滅表示になっているときに、▲ 室温/TEMP. ボタンを押すと冷房設定温度が上がり、▼ 室温/TEMP. ボタンを押すと冷房設定温度が下がります。

運転切換 MODE ボタンを押すと、暖房設定温度だけが点滅表示になります。



暖房設定温度が点滅表示になっているときに、▲ 室温/TEMP. ボタンを押すと暖房設定温度が上がり、▼ 室温/TEMP. ボタンを押すと暖房設定温度が下がります。

運転切換 MODE ボタンを押すと、設定温度の設定が完了します。

※ 設定温度の設定中に、一定時間内に ▲ 室温/TEMP. または ▼ 室温/TEMP. ボタンの操作がない場合、設定が終了します。

設定温度範囲を下記に示します。

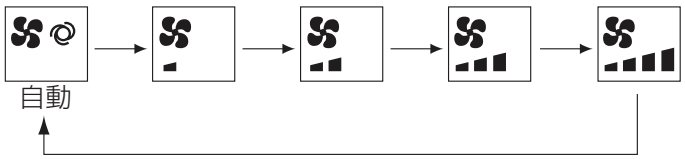
運転モード		設定温度範囲
冷房 / ドライ		19 ～ 30℃ ※1
暖房		17 ～ 28℃ ※1
自動		19 ～ 28℃ ※1
デュアルオートモード	冷房	冷房モードの設定温度範囲
	暖房	暖房モードの設定温度範囲
送風		設定できません

※1 設定温度範囲は、接続する室内ユニットの機種により異なります。
詳細は、室内ユニットの取扱説明書を参照してください。

風速

運

ボタンを押すごとに以下の順に風速が変化します。

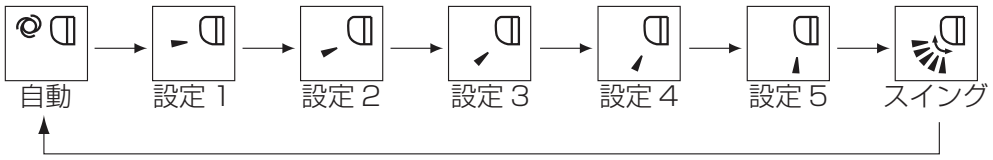


※ 設定できる風速は、接続する室内ユニットの機種により異なります。
※ 室内ユニットに風速機能がない場合には、風速を設定できません。
この場合、ボタンを押したときに、風速表示が点滅します。

風向

運

ボタンを押すごとに、風向が切換わります。



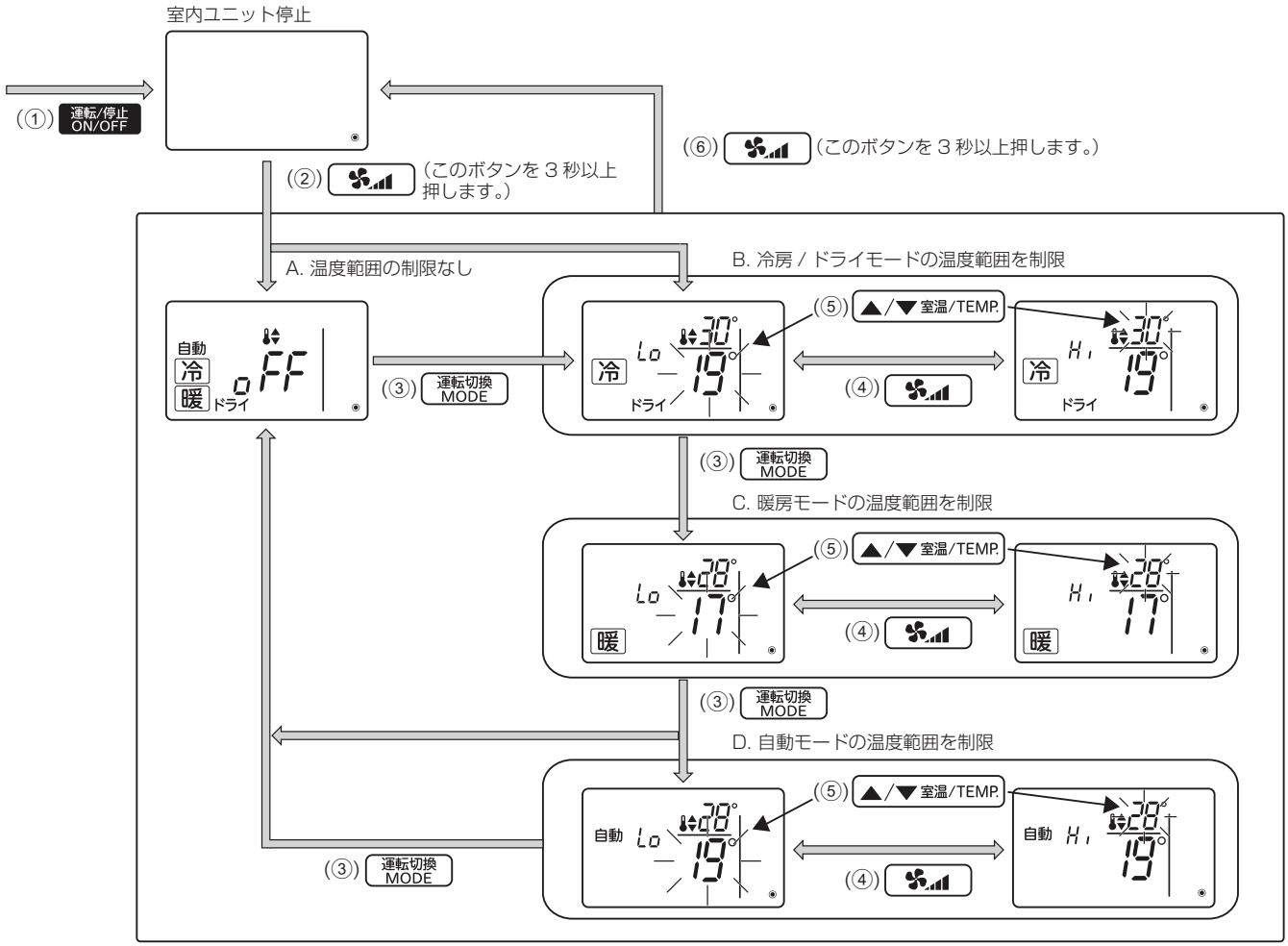
※ 設定できる風向は、接続する室内ユニットの機種により異なります。
※ 室内ユニットに風向機能がない場合には、風向を設定できません。
この場合、ボタンを押したときに、風向表示が点滅します。

機能設定

温度範囲の制限

停

各運転モードの設定温度範囲を制限することができます。



① 運転/停止 ON/OFF ボタンを押して、室内ユニットを停止させます。

② ボタンを３秒以上押し続けて、温度範囲制限設定画面を呼び出します。(A または B が表示されます。)

③ 運転切換 MODE ボタンを押して、A から D を選択します。

※室内ユニットで自動モードが利用できないとき、またはモードスキップ設定で自動モードがオフに設定されているときには、D が表示されません。

A. 温度範囲の制限なし
全モードで、温度範囲が制限されません。

B. 冷房 / ドライモードの温度範囲を制限
冷房 / ドライおよびデュアルオートモードの設定温度範囲を変更できます。

C. 暖房モードの温度範囲を制限
暖房およびデュアルオートモードの設定温度範囲を変更できます。

D. 自動モードの温度範囲を制限
自動モードの設定温度範囲を変更できます。

④ ボタンを押すと、上限値および下限値の設定が切り換わります。

⑤ ▲室温/TEMP.または▼室温/TEMP.ボタンを押して、上限値 / 下限値を設定します。

- ▲室温/TEMP.および▼室温/TEMP.ボタンを同時に押すと、冷房 / ドライ、暖房、自動モードおよびデュアルオートモードの現在の温度範囲が表示されます。
- 室内ユニットの設定温度範囲内で、この温度を調節することができます。
  詳細は、室内ユニットの取扱説明書を参照してください。

⑥ 風量ボタンを 3 秒以上押し続けて、設定を完了します。

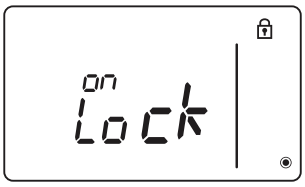
- A が表示されているときにこの操作を行うと、設定温度範囲が制限されません。
- B から D までの何れかが表示されているときにこの操作を行うと、今まで設定した冷房 / ドライ、暖房、自動モードおよびデュアルオートモードの設定温度範囲制限がすべて有効になります。設定温度範囲を変更しなかった場合には、設定温度範囲が制限されません。
- 設定温度範囲の制限が有効になった後、ユーザがこの範囲外の温度を選択しようとすると、その設定温度は点滅表示になります。

※ 設定温度範囲制限機能がある室内ユニットに接続されている本リモコンの設定温度範囲は、同じ機能がある集中コントローラから制限することもできます。

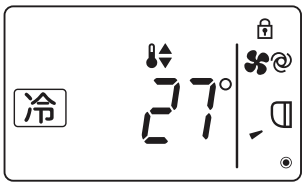
操作ロックの設定

この機能は、全ボタン操作をロックします。

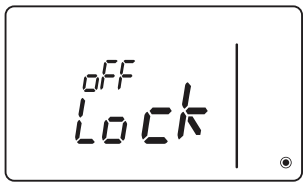
A. 操作ロック設定が有効



B. 操作ロック設定が有効である状態



C. 操作ロック設定が無効



操作をロックする

操作ロック設定が無効になっているときに(🔒アイコンが点灯していないとき)、3秒以上運転切換 MODEボタンを押し続けると、操作ロック設定が有効になります。(A)

※ 操作ロック設定が有効である状態では、🔒アイコンが点灯しています。(B)

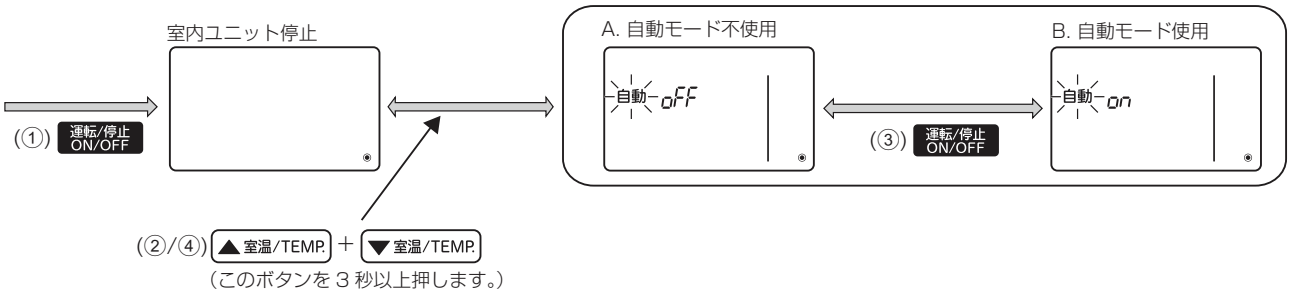
※ 操作ロック設定が有効である状態で、何かボタンを押すと、🔒アイコンが点滅します。

操作ロック設定の解除

操作ロック設定が有効になっているときに(🔒アイコンが点灯しているとき)、3 秒以上運転切換 MODEボタンを押し続けると、操作ロック設定が無効になります。(C)

モードスキップの設定 停

自動モード使用、不使用を設定することができます。
この設定は、自動運転モード機能がある室内ユニットに接続されているときのみ有効になります。



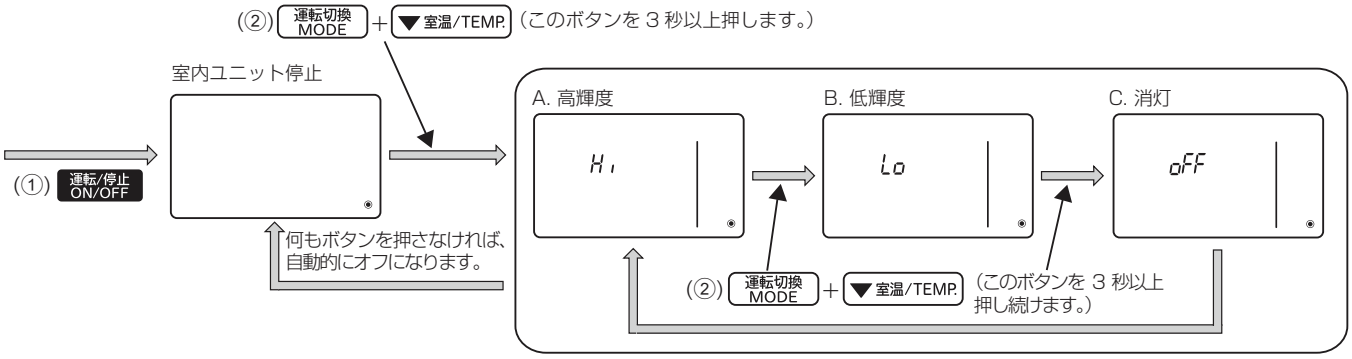
① 運転/停止 ON/OFF ボタンを押して、室内ユニットを停止させます。

② ▲室温/TEMP. および ▼室温/TEMP. ボタンを同時に 3 秒以上押し続けて、モードスキップ設定画面を呼び出します。（現在の設定が表示されます。）

③ 運転/停止 ON/OFF ボタンを押して、オンまたはオフを選択します。
運転切換 MODE ボタンを押すことで、設定 B. 自動モード使用（ON）、設定 A. 自動モード不使用（OFF）を選択することができます。

④ ▲室温/TEMP. および ▼室温/TEMP. ボタンを同時に 3 秒以上押し続けると、設定を完了します。

バックライト輝度の設定



① 運転/停止 ON/OFF ボタンを押して、室内ユニットを停止させます。

② 運転切換 MODE および ▼室温/TEMP. ボタンを同時に3秒以上押し続けて、バックライト輝度を変更します。（工場出荷時は、「高輝度」です。）
※② を繰り返して、設定 A、B、および C を切り換えます。
※ 一定時間の間に ② を行わなければ、設定が終了します。

仕様

本体仕様

項目	内容
製品寸法	70(W)×120(H)×14.5(D)mm （突出部除く）
質量	0.1kg
電源	定格 DC12V（室内ユニットより受電）
消費電力	0.3W
使用環境条件	温度 0 ～ 40°C 湿度 30 ～ 90%RH（結露なし）
材質	PC+ABS

三菱電機株式会社 冷熱システム製作所
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66
☎(073)436-2111(大代表)

WT07226X01